テトラクロロエチレン　Tetrachloroethylene　$Cl_2C=CCl_2$

1. 別　名

パークロルエチレン，パークレン，過塩化エチレン，四塩化エチレン

2. 性　質

液体　無色　エーテル臭

- 分子量； 165.8
- 比重； 1.607（25℃）
- 蒸気密度； 5.7　　● 沸点； 121.2℃
- 蒸気圧； 1.9kPa（蒸気濃度 1.84%）
- 溶解性； 微（20℃　0.02g/100g水）
- 許容濃度； 日本　　ppm（検討中）
  米国　25ppm（TWA）
  100ppm（STEL）
- 許容濃度； 25ppm
- 環境基準； 0.2μg/m3以下（年平均）

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 引火性はないが酸素中では，かなり広い爆発範囲をもつ（酸素中：10.8～ 54.5%）。高温で空気に触れると熱分解し，一酸化炭素，塩素，ホスゲン等の有害ガスを生成する。

人体への影響； 液体との繰り返しの接触により，皮ふが侵される。高濃度の蒸気は，目，鼻，のどを刺激する。慢性中毒により頭痛，脱力感，関節違和感，粘膜刺激などをまねく

濃度と作用

濃　度〔ppm〕	作　　用
30～ 50	臭気を感じる。
200	目に刺激を感じる。
200～ 280	2～ 3時間で頭がふらつく。
1,000以上	45分後に中等度の酔いが起こる。
2,000	麻酔状態。

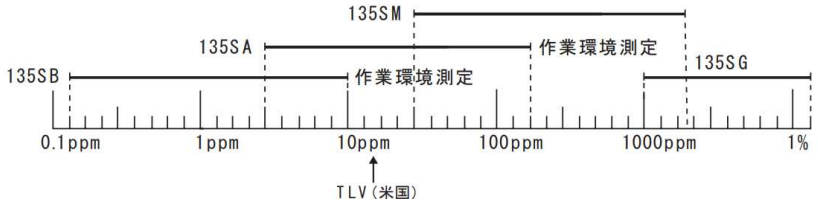
4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法〔NIOSH〕

5. 用途及び発生場所

ドライクリーニング溶剤，原毛洗浄，石けん溶剤，その他の溶剤

6. 関係法令

安衛法（引火性の物、リスクアセスメントを実施すべき危険有害物、作業環境評価基準、健康障害防止指針公表物質）
安衛令（名称等を表示・通知すべき危険有害物）
特化則（第2類、特別有機溶剤等、特別管理）
化審法（第2種特定化学物質）
化管法（第1種指定化学物質）
労働衛生基準法（疾病化学物質）
大気法（指定物質排出抑制基準）
水質法（有害物質）
海洋汚染防止法（有害液体物質（Y類物質））
消防法（第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体）
船舶安全法（毒物類・毒物）
航空法（毒物類・毒物）
輸送上の注意（国連番号1897，クラス6.1，容器等級Ⅲ）

7. 検知管の適用